

# 迎春



三重県電気工業業組合  
三重県電気工事協力会  
発行人 角谷利夫  
編集責任 広報委員

三重県電気工業業組合理事長  
三重県電気工事協力会会長



## 角谷利夫

会員の皆さんには  
ご家族お揃いで  
新しい年を迎えられ  
おめでとうございます。

顧みますと、昨年の前半は売上税の是非を巡って国中が喧々譁々の論争に明け暮れ、この中にもあっては高が進み貿易摩擦は次々と、いろいろの国際紛争を作り出しました。後半に入ってからには限りなく増大する貿易黒字の膨大な資金が国の内外で暗躍して、様々な政治問題まで引き起して

きました。更に愈々米国の景気の後退は一段とドル安に拍車をかけ世界的な株価の暴落を招き一時は將に今世の末期的な経済恐慌の兆を呈し世界中がその恐怖に愕然となりました。ここまでに至る奔流はかつて我が国の基幹産業であった石炭、鉄鋼、造船が次々にその使命を断たれて姿を消し、ついには国鉄、電電までが民営化を余儀なくされ、我が国史上例を見ない産業構造の変化でありました。こうした激動の渦中で官民の別なく国の総力を挙げて我が国はもとより有力な先進国が必死に世界経済

の安定に努力を重ねております。

11月には五年余続いた中曾根内閣から世界中の注目を浴びて竹下新政府が誕生、日増しに日本の国際的役割が期待される時機を迎えることになりました。

師走に入ってから円高は一段と進み、この先景気の動向はどうなることかと国中が心配して年末を迎えました。漸くにしてその必死の対応が功を奏したのか、年末の報道によれば内需の好調、鉄鋼化学などの市況の回復、企業の合理化の効果、円高メリットの波及等々が確実に景気の回復を押し上げ新年度においては官民の設備投資の増大と並行して内需拡大が一段と弾み各産業は増収・増益の基調で推移するだろうと永年の展望が次第に実現しそうです。

当然吾々の周囲の商工業や建設業にも恩恵を受けることは申すまでもなく、久しく枯渇した住宅の着工件数の増大が期待されます。

また吾々電気工業界が十年余の宿願であった士法・業法の画期的な改正がなされ、九月一日から施行されることになりました。同時に建設業法による「電気工事施行管理士」制度の導入と相俟って吾々の業界にとっ

てはまさに一大変革の時代を迎えることとなります。前述の景気の好転と期を一にして吾々の施工資格の向上はもとより、日々急速に多用高度化の設備需用に対応できるばかりか高度の技術を必要とする自家用設備の市場確保が約束され吾々の社会的地位が一段と向上されます。と同時にその責任が増大され吾々の新たな自覚を深く意に止めなければならぬこととなります。往く年を送り、新しい月日を迎え、日々の出来事は次々に移り替り、古き友との別れ、新たな人との出逢い、何か新しいものを創ることのできるこの新しい年を皆さんと一緒に頑張ろうではありませんか。

## 「新年に思う」

副理事長  
副会長

小林重治郎



会員のみなさま

明けましてお目出度うございませう。

旧年中は大変お世話になりました。尚本年も御指導の程よろしくお願い申しあげます。私も副理事長、副会長という大役をおおせつかりましてより早や一年半を過ぎ一期終了も間近かになって参りました。この間皆様方の御協力と御援助により無事新年を迎えることができましたことを心から厚く御礼申しあげます。

昨年は経済的激動の年であり株式の暴落と円高にふり廻され、なんとなく不安定な年であったと思う。円高の原因を考えて見れば、根本的には輸出のしすぎであるとともに、世界中のお金を日本に集め過ぎの結果

であり当然の成り行きであるように思われる。一時期一ドル一八〇円が一五〇円となり、一二〇円台になり尚一〇円ぐらいいまで円高が進むのではないかと、ささやかれている。裏をかえせば輸出をしにくく、輸入をしやすくする仕掛けが円高で調整されているのである。

ゴルフのハンディにたとえれば30のハンディをもらってプレーをしていた人が腕前があるに從って20になり、さらに技量を磨けばシングルプレーヤーになるという理屈と同じである。

昭和40年代は貧乏のどん底からはいあがった日本経済を思い起せば、当時鉄鋼、造船は花形産業であり、造船王国日本とか、鉄は国家なりとか、輸出立国日本と景気良い活字が新聞紙上にボンボンと一面記事にでていたが、今日では昔話になってしまった。

現況では工業製品の輸出は自主的削減をし、反面日

本はもっと輸入をふやせと聞いて、世界中からいじめられている今日である。素人の考えであるが日本

の工業製品はすべて外国製品より故障は少なくスマートにできているので海外製品を購入する機会が少ないように思われる、輸入品で安くて良いと思うのは農産物、牛肉等があるが日本の農業政策上早急に解決のつく問題ではないように思う。貿易の均衡も重要であるけれど、今迄の輸出型産業体質を早急にかえることはできないし尚将来が問題である。

企業の各社は輸出の減少を見越してか「輸出がダメなら現地があるさ」のかけ声で、社運をかけて海外に生産工場を建設しているのが現状のように思われる。

外地生産が進めば逆に国内生産の減少はまぬがれないので、結果は国内産業の空洞化の足音が近づいてくるような気がしてならない。暗いことはかり申し述べましたが、政府も62年度より内需拡大政策を打出し、今後社会資本の充実、いわゆる道路整備に、住宅

建設の促進等、幅広く計画を進めておられるので、建設業界は最近明るさを増してきているように感じられます。建設業者の話によりますと、目下の処、型枠大工と鉄筋工が不足しているようだが、我々電気工事業界も多少の上下はあるものの、一応ピンチを脱した感があるように思われます。

## 謹賀新年

(社) 東海電友共済会

理事長

池戸正巳

新年明けましてお目出度うございませう。貴組合の当共済会によせられますご協力に深く感謝申し上げます。

中部五県共有の共済事業として着々と成果を挙げる事が出来、会員の皆様へのバックボーンとしての役割りが達成出来る事はご同慶の至りであります。

私共中小零細業界としての経営リスクの相当部分を占めている、作業上の突発事故による被害、不時の退職者への対応等が共同事業である当共済会活動の為に安心して経営に専念出来る

今年は一層内需拡大政策の成果が浸透することと思えます。

この辺を境に今迄一部の業者にありましたダンピング受注は厳に慎しみ、適正価格と安全作業に、家庭円満をモットーとし業界の発展と魅力ある電気工事業界へと前進されますようお祈り申しあげます。

事は、業者団体のメリットとして最も望ましい姿であります。

もっともっと、その実力を蓄わえ、組織に入っていないければ損だという認識が津々浦々に広がる様になれば、やがて業界秩序の確立にも大いに役立つ事となりましょう。

新年を迎えるに当たり心を新たに、各県会員の皆様と相たずさえて、当共済会活動の普及拡大を図り、喜びを共に出来る様、努力しようではありませんか。

## 新年のごあいさつ

中部電力株式会社  
常務取締役津支店長

高 木 勇



新年あけましておめでと  
うございます。

皆様方にはご健勝で新春を  
迎えられたことと、心から  
お慶び申しあげます。

さて昨年を顧みますと、  
八月には皆様の念願であり  
ました、「電気工事士法」  
「電気工業法」のいわゆ  
る工事二法の改正が、国会  
で可決成立いたしました。

これは、偏に貴業界の輝か  
しい業績と高い技術レベル  
によるものと、深く敬意を  
表する次第であります。

この法改正が、貴業界の  
一層の地位向上と発展につ  
ながりますよう心から期待  
いたします。

また、十月に開催されま  
した技能オリンピック中部

大会では、出場した二チー  
ムが揃って、実技部門と安  
全部門で一位となりました  
ことは、日頃の技術の研磨  
の上にたったものと高く評  
価されるものであります。

ところで、昨年十月にニ  
ューヨークのブラックマン  
デーから始まった株の乱高  
下が続きましたが、国内に  
おいては円高の定着に伴う  
物価の安定と低金利水準に  
支えられ、個人消費・民間設  
備投資等の内需を中心とし  
た伸びにより景気は回復か  
ら拡大へと向かいました。

電力会社にとっても変化  
の多い一年でありました。  
特に、電気料金について  
は、六十年秋以降の急激な  
円高と原油価格の低下によ  
り、二度に亘り暫定引下げ  
を実施いたしました。

その後もペルシヤ湾情勢  
等不安要素はあるものの、  
油価等の最近の動きは小幅  
になっており、これを機会

に新たな電気料金制度へ移  
行すべく、昨秋十月に申請  
を行ない諸手続きを経て、  
十二月に認可となり本年一  
月一日実施の運びとなりま  
した。

一方電源開発につきまし  
ては、浜岡原子力発電所三  
号機、あるいは尾鷲三田火  
力発電所三号機の運開等が  
あり、水力・火力・原子力  
を合せた総発電設備出力は  
二〇〇〇万KWを突破いた  
しました。

しかし、原子力発電設備  
はいまだ十二パーセントで  
あり、石油依存度の高い脆  
弱な体質を改善するには、  
原子力発電を中心とした電  
源の多様化が急務と痛感し  
ております。

さて、新しい年六十三年  
を展望しますと、景気は所  
得の回復による個人消費・  
低金利による住宅投資、あ  
るいは構造転換による設備  
投資等内需が定着し安定し  
た伸びが予想されますが、  
一層の円高や原油価格の動  
きによる影響が懸念される  
ところであります。

この様な情勢にあつて、

六十三年の当社の大きな課  
題は、「芦浜立地の早期実  
現」、「需要開拓・負荷平  
準化」、「新電気料金制度  
の長期安定」にあります。

「芦浜原子力立地」につ  
きましては地元に対する県  
の啓発活動も進められ、新  
たな局面を迎えたのはご承  
知のとおりでございます。  
今年こそ地元の皆様のご理  
解を得て、まずは賛否の判  
断材料となるべき環境調査  
は是非実施させていただき  
たいと全従業員が努力して  
まいる所存でございます。

次に、「需要開拓・負荷  
平準化」であります。エ  
ネルギー間競争は昨年にも  
増して厳しいものがあり、  
当社も昨年七月に営業開発  
部署を設置し、ビル空調、  
産業用加熱の分野に、また

昨年十二月には二〇〇V配  
線の推奨制度を発足させて  
積極的に取り組んでおりま  
す。また、深夜電気温水器  
につきましては、会員皆様  
の強力なバックアップによ  
り五六年以降の減少に歯止  
めがかかりプラスに転じま  
した。しかし今後も負荷率

の向上を図り、電力コスト  
の低減に向けて従業員一丸  
と推奨活動を実施してまい  
りますので、昨年以上のご  
支援ご協力をお願い申しあ  
げます。

新しい電気料金制度につ  
きましては、旧料金に比較  
して二十二・〇一パーセン  
トの値下げという厳しい内  
容ではあります。一年で  
も長く現行料金が維持でき  
るよう「原油の動向に左右  
されない芦浜原子力立地の  
早期実現」・「電力コスト  
低減のための深夜電気温水  
器を中心とした負荷平準化  
の推進」に加え、「徹底し  
た業務効率の追及」ならび  
に「一層のサービス向上」  
に全従業員が努めてまいり  
覚悟でございます。

また、この改定では工事  
費負担金の大幅な軽減等、  
内容の変更をさせていただ  
きましたので、皆様のご理  
解をお願い申しあげます。  
最後になりましたが皆様  
方のご健康とますますのご  
発展を祈念いたしまして、  
新年のご挨拶とさせていただきます。

### 電気工事業全国大会に参加して

専務理事 蒔田正幸

年一度の我等が祭典である第五回電気工事業全国大会が、昨年の大阪に続いて会場を仙台に移し盛大に開催されることになり、角谷理事長に随行して参加いたしました。

往路は名古屋から仙台まで飛行機を利用しましたが、空港では如何なる訳か私のみ綿密な身体チェックを受け機上の人になりました。天気清朗の雲海の上を快適な飛行が続く中、もし墜落してもオゾン同志の心中では残念だとか、ハイジヤックに会ってハワイかグアム島へでも行けたら幸運だ等と冗談を交しているうち十時過ぎ無事仙台空港に着陸でき、愛知県の皆さんと昼食を共にしたのち、会場である仙台市民会館に到着し、前日から来仙していた飯田青年部会長と合流しました。

大会スケジュールにより十一時から受付開始、郷土

芸能の見学の後、十三時より国際ジャーナリスト「NHK記者」勝部領樹氏による「情報化時代における技術革新の将来展望」と題する講演が開催され、その次の高い内容に感銘を受けるとともに、我々業界も尚一層の研究の必要性を痛感いたしました。

十四時三十分からは「中小電気業者の生きる道」をテーマに、又サブテーマとして、(一)後継者育成、(二)ダンピングの排除、(三)企業体質の改善、(四)電気設備工事の分離発注の促進、(五)専門工事業としての地位確保、(六)とりあげられ、パネ

ルディスカッションが行われ、パネリストには全国各ブロックから五名の代表と経営コンサルタントの和田稔氏が登壇され、それぞれ意見発表のあとコーディネーターの東北大学教授大内秀明氏による集約と見解がのべられ、その当面する切

実な諸問題に終始熱心に聴講することができました。

本大会は大ホールで実行

委員長の開会の辞に始まり

「物故会員に対する黙祷」

全日連合会長の「挨拶」

「大会決議」「来賓祝詞」

「祝電披露」「次期開催地

の発表」と予定通り盛會裡に、そして意義ある大会を終ることが出来、次期開催地東京での再会を約しました。

夜は一〇〇〇人近いマン

モス立食懇親パーティも催

され和気藹々のうちに東北

の夜を過し、翌二十三日は

午前中仙台市内の名所観光

をし午後墜落の心配のない

新幹線でテレビドラマの政

宗ブーム一色の仙台をあと

にしました。

尚、大会決議文は別項の

通りであります。

### 第五回全国大会決議

本日森の都仙台に、全国五万の組合員の代表が結集し開催された第五回電気工事業全国大会は、「中小電気工事業者の生きる道」を主要テーマに次の課題について有意義かつ積極的討議が展開された。

- 一、後継者育成と技能者の養成
  - 二、電気工事業に於ける付加価値の増進
  - 三、企業体質の改善と自助努力
  - 四、電気設備工事の分離発注の促進
  - 五、専門工事業としての地位確保
- 以上五項目のほか直面する諸問題や、中長期的展望についても数多くの提言があった。

又、次代を担う青年部研究会に於ても  
一、人材の確保  
二、社会的地位の確立  
三、青年部のあり方  
等、三点を中心に活発な意見の交換や討議が行われた。

現在転換期の中での中小電気工事業をとりまく諸環境は依然厳しく推移しているが、我々は電気工事二法改正という大きな成果と、本大会に於ける建設的討議と提言をふまえ、更に組織の充実と団結協調を強め、創意と自助努力の中で業界の活性化と活路開拓に英智を結集しなければならぬ。

今後関係行政当局の適切なるご指導のもと、関連業界との友好協力関係を更に高めつつ、重要課題の早期前進に努め、以って業界の更なる実りつつある繁栄と全日電工連発展のため総意をもって全力を傾注することをここに決議する。

昭和六十二年十月二十二日

第五回電気工事業全国大会

# 各地区リレー訪問記

## 名張地区を訪ねて

全国的に一、二位を占める人口・戸数の増加率を誇る名張市を中心とした地域を受持つ名張地区を訪ね、その実態をお聞きした。

現在会員は三〇名であるが市の発展とともに会員増加となったもので最近の加入会員の平均年齢は34才位と若返り、地区会員全体の平均年齢も約46才で、業界の高令化の中で特異な地区

部、美杉村の一部で約二万一千戸の需要家であるが、特に名張市の増加率が著しく昭和29年3月の市制施行時に三万一千人の人口が、40年ごろからの団地造成で急増、54年1月に四万人、57年3月に五



名張地区例会

万人を突破、62年8月にはついに六万人となった。戸数についても50年当時、約一万戸であったのが現在では一万六千戸と驚異的な増加ぶりである。

市内には大阪・奈良方面のベッドタウンとして現在までに12団地余りが造成され併せて関西系生産工場などの進出も多く地域開発に大きな活況を呈している。進出に伴う工事関係についても大半が関西系列の業者が出入りし経済的にも完全な関西圏の商域となっている感がある。

しかし最近での住宅事情は注文住宅が多くなり施主の希望による設備の充実欲が強く地元業者への発注が増加傾向にあり現状では各会員間の応援まで手が回らない程の仕事を受注している。

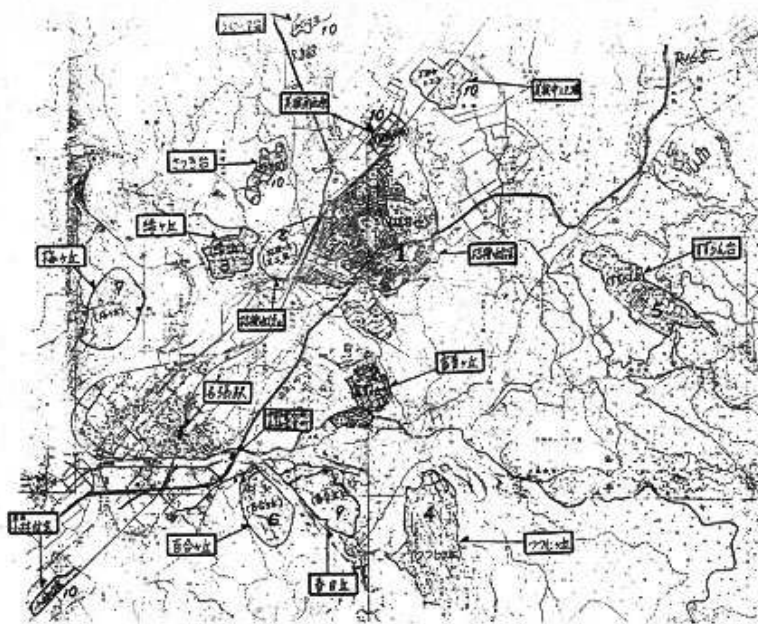
幸い名張地区内にはアウトサイダーは一店もなく、それぞれが仕事に追われる恵まれた環境であるが、会員間では更に充実した仕事を念願し、特に設備関係の技術習得、新知識の吸収等の必要性を希望しており、関西系におくれをとらないよう三重県の組合組織として、強力な指導制を発揮されたいとの要望もあった。

福森理事は地区運営方針として組合員平等の権利義務を第一とし「和を以って貴しとする」精神を強調されるが、組合員も従来は大阪系のテレビしか受信できず、伊賀に県政なしといわれた時期もあったが、近年は名古屋系の情報がどんどん入り、三重県の組織員としての意識も高く三重県の組合員の「一致協力」の団結力が必要であると訴えており、若さあふれる発測とした活気ある貴重な意見もあった。

現在の県内主要道路となっている東海道、四日市道分からの参宮街道などは江戸時代から発達したものであるが名張・青山を通った「初瀬街道」の歴史は古く、大和・平安京などの時代から唯一の参宮街道として、三雲町の六軒茶屋まで通じた都と結ぶ重要な道路であった。現在の165号線がその名残りでありルートは昔の街道と重なったり離れたりしながら並行している。また近鉄大阪線も大阪・京都・大和が殆んどこの街道と同じ行程をたどり現在のお伊勢参りのルートは変りない。

「古事記伝」の執筆に没頭していた本居宣長は明和九年(一七七二年)三月五日吉野の花見に旅立っている。この時の紀行文「菅笠日記」42才だったが旅をすることがほとんどなかった宣長にとって大変楽しげな吉野行だったと見え、日記には青山町から名張市にかけての当時の初瀬街道の様子がかんまり詳しく記されている。三月五日の早晩出立し青山峠越頃からの雨に苦勞しながら最初の宿を青山町の伊勢路にとっている。この伊勢路、阿保宿の宿場街としての活況がうかがえるが、かつての大和・京

(次のページへ続く)



名張市内で盛んな団地開発状況

からの参宮客にとって青山高原は、現代こそトンネルで通過できるが当時としては天下の険であったろう。この峠を前にした阿保・伊勢路の宿場としての発展は当然で大いににぎわったものと思われる。

旅籠に往時の繁盛ぶりがかがえる。宣長は翌日の三月六日には伊勢路を出立、当時の街道沿いの風情を細かに見聞しながら名張へ入る、なだらかな峠道で景色も良く古い万葉集に詠まれた歌を思い出している。

「吾かせこはいづくゆくらん おきつもの 名張の山を今日か こゆらん」  
この歌は持統天皇（六八六―六九六年）が伊勢への巡幸に際し供をして都をた

った、「当麻直人麻呂」（タキマノマヒトマル）の妻が夫をしのんで詠んだといわれ、古くから大和・京の直接支配地の最前線がこの名張であり、今日から伊勢の国へ入るころであろう

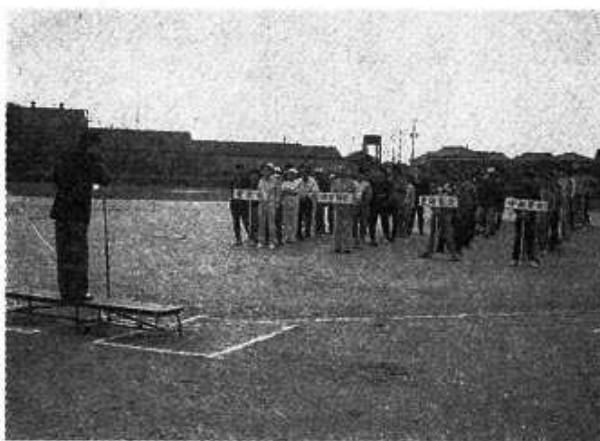
勢の国へ入るころであろう  
…無事を祈るとほしい  
思いをこめた歌としての  
んでいる。  
このように古いロマンを秘めた名張地区は今関西のベットタウンとして大きな衣替えの真最中であり再び活性化されようとしている。（訪問・青山・大矢）

〈四日市地区だより〉

恒例の親睦ソフトボール大会

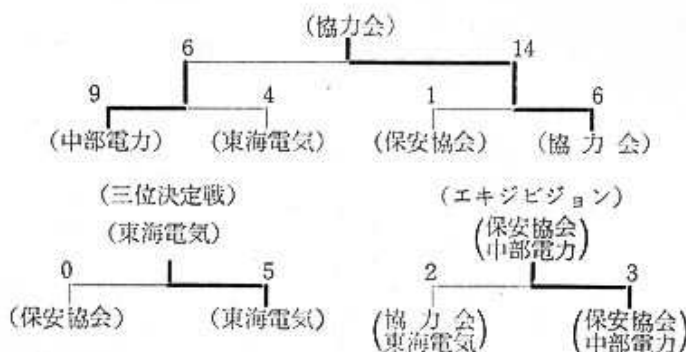
第11回四日市地区電気関係団体による恒例の親睦ソフトボール大会を去る11月7日（土）九時から四日市市営北条グラウンドにおいて

参加者約100名が集り盛大に開催した。



親睦ソフトボール大会開会式

中電・東海電気、保安協会、協力会の四チームがトーナメント戦を繰り広げ、試合5回戦、50分の時間制約による対戦



を開始、中間に役員、管理職によるエキジビションを交え和気あいあいの大会となった。

試合結果は別項のとおりで本年度は協力会チームが実力を発揮し優勝、表彰式ではホームラン賞、打撃賞、ファインプレー賞、ハースル賞、パンザイ賞、ユーモア賞、敢闘賞など、それぞれ個人賞を授与、予定どおり15時終了した。

# 懐 古

専務理事 蒔 田 正 幸

会員の皆さんにはご健勝のうち、新春を迎えられ、先づ以ってお目出度うと申し上げます。

例年のことながら正月になると「今年こそは」と過分な抱負を心に描いてみるもの、悲しいかな成就した年のないうちに六十三回目の正月を迎えました。

世界情勢や経済問題等は他の先生方の投稿に委ねることとして、孫の三人もある身でありながらセンチメンタルなと笑われるかも知れませんが、昨年末に小学校卒業五十周年の同窓会を催したことを契機に若かりし昔を懐古してみました。

昭和六年に一年生として新町小学校へ入学、十二年三月に卒業した我々同窓生は三クラスで一三一名ありましたが、現在住所のわかる人数が男女合せて七〇名であり、そのうち同窓会に出席したオゾン・オパンが一九名と誠に淋しい限りで

ありました。

戦中派として青春を過した我々でしたが、戦死又病死の故人が五十四名もあり変動の激しい時代を生きながら一夜を過しました。一年生の昭和六年には満州事変勃発、満州国の建国、トーキー映画始めて上映、流行歌「酒は涙か溜息か、丘を越えて」発売される。

七年には五・一五事件で大養首相暗殺される、白木屋の大火災、流行歌「影を慕いて、銀座の柳」が愛唱される。八年には皇太子殿下誕生、三陸大地震、日本国連脱退、流行歌「東京音頭、島の娘」発売される。

九年には東北地方が大凶作、西日本大干害、室戸台風と全土が天災の年であった。流行歌「赤城の子守唄、国境の町」がはやる。

一〇年には永田軍務局長刺殺される、流行歌「二人は若い、野崎小唄、緑の地平

線」が流行。十一年には二・二六事件、阿部定事件発生、流行歌は「男の純情忘れちゃいやよ」流行する。六年生を卒業した十二年には支那事変が日中戦争へと移行し全土が軍国色に塗りつぶされ、漫画「のらくろ」が少年少女に愛読される。等が六年間の世相の思い出であった。

## 新年を迎えて

広報委員長 青山 登志男

一九八八年の新春を迎え組合員各位のご健勝を心からお祝い申し上げます。ながながと続いた不況の波も昨年後半からは、内需拡大政策と金利引下げなどによってか住宅建設関係にも僅かながら景気を取戻した感があります。本年も吾々関連業者には多少なりとも明るい年になるのではな

いかに期待しています。しかし一方の、輸出関連業者にとっては年の瀬の円高が一段と厳しく、新年を

ざみであるが、社会的に有名な人や大物も一人も出なかったなあ」と嘆息した次第でありました。そして減りこそすれ増える筈のない人生の斜陽同窓会の次回開催を六十三年十一月と約して散会しました。

おわりに一句  
「としなみに  
逆らいながら  
ふねをこぎ」

迎えても明るい見通しは困難なようです。輸出商品の値下りです。輸出商品の店内いたるところに輸入品フェア等、日本の製造業者にとっても未だに景気の回復は先送りの新年の幕明けのようです。

私事ですが昭和34年に創業して30年目になります。10年目位までは仕事の量も多く、値引されることもなく商売に張合いがあったものでしたが、オイルショック以降は工事量も減少する

うえに見積りを出しても無茶な値引を強いられ、商売に出来ない工事が多く、安ければよいという建設業者への対応にはやはり吾々組合員一同が値段の協定は無理としても正確な積算により、いたずらなダンピングを避けることが組合員の共存共栄につながる道と信じています。私達は他の業種にはない国家試験による技術者でないときかない業種という誇りをもって適正な価格で受注できるよう努力しようではありませんか。

私も現在組合の事業運営には皆さまの力となるような情報や新技術の紹介等、より良い会報紙となるよう、広報委員一同頑張っていく所存です。併せて皆さまのための、皆さまの組合となるよう一層のご協力をお願いいたします。

最後になりましたが、今年のエト「竜」にあやかり昇竜の如く大いに飛躍する年となりますよう、皆さまの益々のご発展とご健勝を祈念いたします。

## 会員異動のお知らせ

会員異動は下記のとおりです。名簿の追記修正をお願いします。(事務局)

地区	種別	新旧	コード番号	事業所名	代表者	住所	電話	郵便番号	登録届出申請番号
津	加入		31127	落合電設	落合喜久生	津市中央7-18	0592-28-6242	514	60-57
"	"		31128	司電気工業所	伊藤司	津市島崎町146-41	0592-28-2515	514	59-92
"	"		31129	中電工事津支社	黒川幹郎	津市新町2丁目4-53	0592-27-6555	514	(届)局長 46010
松阪	"		32154	坂口電機工事	坂口勲	松阪市大塚町362-5	0598-51-1741	515	61-9
鈴鹿	"		34767	錦東亜電気工事	渡辺幸美	鈴鹿市平田町1408-3	0593-78-8581	513	(届出) 84-16
四日市	変更	新旧	34166	奥岡設備	奥岡辰男	四日市市別名4丁目1-2 四日市市大宮西町17-14	0593-31-2614	510	61-465



## 事務局職員の親睦旅行記

去る11月7日～8日、事務局職員の親睦旅行を実施、今回は敦賀、若狭方面へ一泊二日の

明通寺の庭園にて

行程で、15名が参加、小型貸切バスにて四日市駅を出発、北勢町経由で関ヶ原から高速に入り一路北陸路を走り最初の目的地三方五湖へ到着、記念撮影後遊覧船で五湖周遊、上陸後梅丈ヶ岳へ、リフトにゆられなが

ら展望台に登頂、秋の深まる三方五湖の眺めを満喫しながら散策、下りのリフトにすっかりつかまつてのスナップに大はしゃぎの一幕もあり日常の苦勞も吹きとぶ親睦的風景……下山後夕暗せまる若狭路を再び敦賀まで戻り宿泊先の福井厚生年金健康福祉センター「サンピア敦賀」へ……すっかり夜景となった市内に入っただが大きな施設のサンピアはすぐわかり第一日の旅装をといた。

当施設は昨年暮れ新装開館されたばかりとのことで内部施設も新らしく、ゆったりとした立派なものである。大広間の宴会場の雰囲気もまた豪華で一行の夕食会も益々エスカレートし予定以上の懇親会となった。

翌朝は折角の旅行を有意義にと八時出発、国宝・文化財の宝庫、小浜市へ向う。日本への仏教伝来の最初の地域として栄えた若狭地方には数多くの文化遺産が保存され歴史も古い、明通寺・国分寺・万徳寺・神宮寺と自然に恵まれた素朴な中に古くより残され、受けついできた多くの国宝・文化財をたずね、その壮重雄大な建物、文化財、名勝庭園等を心行くまで楽しみ、紅葉に映える若狭巡りに何かほっとした気持になる。

昼食後は若狭湾内の名勝地蘇洞門めぐりに乗船したがあいにくの強風のため現地上陸はできなかつたが湾内からの展望もまた格別、下船後はセンター内において思い思いの土産品の買物を楽しみ帰路につく、僅か一日半の親睦旅行も今回はバス利用により最高に活用できた満足感と一年一回の事務局職員の交流親睦にはまたとない有意義な旅行であった。





# 新春に思う

経済委員長 高山悦嘉

皆さん、明けましておめでとございます。

年が明けて身も心も生れ変わる初夢こそみななかったのですが……今年こそは私も会員の皆さんに負けぬよう少しは勉強してみたいと心に念じております。

胸に去来するものの中で、昨年の経済委員会で行った各地区での経済講演会のことと触れてみたいと思います。講師の増井先生はこう言っておられます。

(1)小規模の電気工事業者といえども、経営者には変りない。

(2)経営者である以上、単なる技術屋に終ることなく、ソロバン勘定ができる販売人にならなければいけない。

(3)商売をするからには、仕入と売上げをしっかりとついで税金を納めなければいけない。

(4)まして家電を兼業する店

はお客が入りやすく、出やすい店であって商品を見やすいところに置き、お客さんの応待役は微笑を絶やさぬ奥さんにすればよい。

今やお客さんの層は大きく変わりつつある。感じよく、運びやすい商品(工事も含めて)を好む時代だ。

現場で明け暮れる工事屋に終ってはいけません。と厳しくも心のこもった熱弁を各地区で披露したものです。

このように昔と違った感覚的商売をする戦術とか戦略は、大小の規模を問わず企業の必須条件でありましよう。更に加えて経営者自身の心の問題が何より大事ではないでしょうか。ここで私は「ねむの木学園」の宮城まり子さんを思い浮かべます。五十人の不幸なお子さん達を吾が子のように育てている姿は涙なしには

まともに視られません。

20才になる「つとむ」という一学園生がピアノを教えられて一年に一曲は弾くようになったそうです。

或る日作家の水上勉先生と園長に乞われるままに「つとむ君」はおぼつかない足どりでピアノに向い、先ずポケットからハンカチを取り出してピアノをきれいにふいた後、おもむろに演奏してました。曲名は知りませんが自分で作曲したとか、音楽に遠い私でも胸を打つ深い響きを感じたことでした。そのうち演奏を終えた本人は、またハンカチを出して今度はピアノの脚までふき清めました。彼はとつとつと言いました。ピアノと一体にならなければきれいな音はできません……と。

技術革新が果しなく続くこの世の中で人間として最も大事なものは何だろう……と自問するうちに「心を忘れてはならない」と大きく教えられた気がします。ご笑読していただき感謝いたします。

# 本部事業の

## 主なうごき

◎62・11・1(日)

第三者損害賠償補償保険契約更新(大東京火災)

◎62・11・11(水)

設備業三団体による中部地建との懇談会(三役出席)

◎62・11・12(木)

理事会(20名出席)

◎事業報告

◎加入、変更承認

◎新年役員会日程

◎各委員会事業について

◎62・11・13(金)土

(工)中部連合会理事会

(於鳥羽市:五名出席)

◎62・11・17(火)

三重県中小企業団体中央

会青年部会10周年記念大会(五名出席)

◎62・11・17(火)

経済講演会(四日市会場)

◎62・11・19(木)

雇用管理・健康管理講習

会(松阪会場)

◎62・11・20(金)

職長研修会(名張会場)

◎62・11・24(火)水

社会保険、退職年金研修会(亀山、上野会場)

◎62・12・2(水)

経済委員会(7名出席)雇用管理実態調査集約について

◎62・12・8(火)

安全推進会議(13名出席)

上期の実施状況について

下期安全対策、他

◎62・12・8(火)

総務特別委員会

(11名出席)

各支部、地区運営内容について

今後の組織のあり方等について

◎62・12・10(木)

事務局会議(22名出席)

下期事業の推進について

土法・業法改正に伴う諸準備について

その他事務連絡

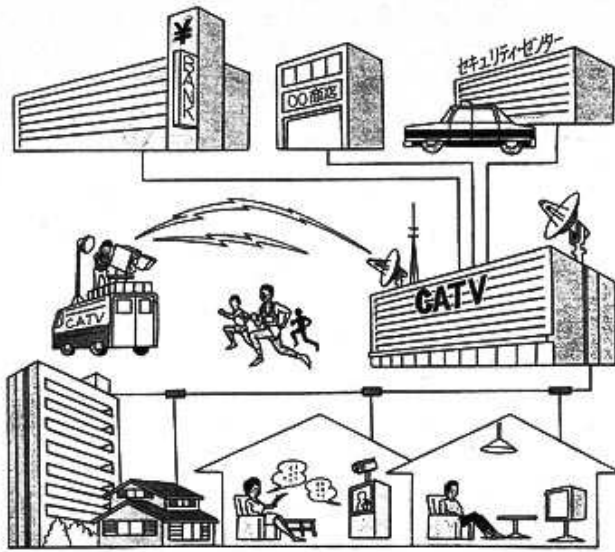
統一事項について

◎62・12・15(火)

経済講演会(鴨方会場)

# 用語解説

有線テレビのこと、またはコミュニティ・アンテナ・テレビジョンの略称。従来、山間地や高層ビルなどのテレビ難視聴区域解消を行うことを目的に、マスターアンテナをたて、ここから各加入者と同軸ケーブルを結んで、テレビ放送の



## CATV

受信に使われていた。その後、番組の配信に使う同軸ケーブルが大きな伝送能力を持ち、多くのチャンネルを確保できることからCATV局が生まれ、自主放送や双方向の通信サービスを行うようになった。

昭和五十一年から五五年まで東京・多摩の多摩ニュータウンで約五〇〇戸を対象に行われた多摩CCISと、五三年から奈良・東生駒で約一六〇戸に実施しているH-I-O-V-I-Sなど、ニューメディアのあり方を模索する試みも行われている。

CCISは、同軸ケーブルを伝送路に用いて、映像を提供するシステムで、郵政省、電電公社（現NTT）、マスコミなど五一団体が参加した。H-I-O-V-I-Sは、伝送路に光ファイバケーブルを採用して、加入家庭からの応答ができる双方向型映像情報システムを提供するもの。通産省が援助した。

今後は、通信衛星と結んだ広域サービスや、H-I-O-V-I-Sのように光ファイバケーブルを利用したものと発展し、番組もニュース、スポーツ、音楽・映画はもとより、ホームバンキング、ホームセキュリティなどへ発展することが予想される。また原子力発電所から周辺住民への情報伝達手段としても注目されている。

### 分離発注促進シリーズ ⑩

## コスト・オン方式

以上分離発注のメリットについて説明してきましたが、いろいろな事情からどうしても建築業者に総合発注しなければならない場合もあるかと思われれます。しかし、そのような場合でも、できるだけ総合発注の不合理性を少なくする方法があります。それがいわゆる「コスト・オン方式」といわれるものです。

- ① 工事全体を建築工事と設備工事とに分ける。
  - ② 建築主が、それぞれの工事に適した建築業者と設備業者とを分けて選定する。
  - ③ 設計に従ってそれぞれ見積り、また入札を行い、それぞれについての工事金額を決定する。
  - ④ 設備工事費に、設備工事の「統括業務費」と「共益費」を上乗せ（オン）した金額で建築業者に総合発注する。
- 言ってみれば、建築・設備の各工事にガラス張りの契約をしたうえで、工事全体の統括管理を建築業者に一任するというやり方です。従ってこの方法は、面倒のない一括発注でありながら、発注者と設備業者が直結し、安全で良質の設備工事が得られるという分離発注の長所が得られます。
- コスト・オン方式の契約は、まず発注者と建築業者との間で総合請負契約を結び、次いで発注者・建築業者・設備業者の3者間でコスト・オンのための協定を締結します。これらの手続については、経験豊かな設計事務所がすべて代行または手助けをしてくれますから、安心してお任せすることをお勧めいたします。